

2025年6月19日
株式会社ADワークスグループ
(東証プライム：2982)

環境にも人にもやさしい『木質化×ウェルネスオフィス』 作り手の思いと現場の様子を動画で紹介

～木と調和した賃貸オフィスを提案、働く人の健康促進や生産性アップ図る～

株式会社ADワークスグループ（所在地：東京都千代田区、代表者：代表取締役社長 CEO 田中秀夫、以下「ADWG」）の子会社で、収益不動産事業を推進する株式会社エー・ディー・ワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木俊也、以下「ADW」）がバリューアップを手掛ける、東京駅から徒歩15分程度の八丁堀エリアにある物件での『木質化×ウェルネスオフィス』プロジェクトの紹介動画 第一弾を公開しました。

本プロジェクトは、当社の強みである物件バリューアップによって環境課題と社会課題の解決に取り組むものです。本動画の公開を通して、中古物件のバリューアップによる課題解決の取組への注目を一層高めていくことを目指します。



■概要

タイトル: 株式会社エー・ディー・ワークスが手掛ける『木質化×ウェルネスオフィス』_chapter1: プロローグ

動画 URL: <https://youtu.be/amlKVe3PxpE>

1. 物件バリューアップにて、「内装の木質化」による環境配慮型のオフィス作りに挑戦

八丁堀駅から徒歩3分に存する「ナカリンオートビル」は、ADWが2024年10月に取得したテナントオフィス・店舗ビルです。このたび、物件バリューアップにおける「サステナビリティの追求」として、空き区画となっている3階のオフィス区画を『木質化×ウェルネスオフィス』へと改装するプロジェクトが発足しました。

本プロジェクトにおいて重要なテーマが「環境配慮と働きやすさの両立」です。そのキーとなるのが国産の杉材を利用した木製 OA フロア「Wood Floor Unit 3.2」です。昨今、建築において CLT※などの木材を利用した際の炭素固定効果が注目されています。本プロジェクトでは、内装付きオフィスの床面約 180 m²に木製 OA フロアを利用することで、約 5.76t-CO₂（約 410 本の杉の木が年間に吸収する二酸化炭素量に相当）の炭素固定効果が期待されます。

※CLT：繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料。コンクリートを超える高い強度と耐火性を持ち、再利用も可能なことから持続可能な建築材料として注目されている。

2. 「働く人のウェルネス向上」により生産性向上の効果にも期待

木を使ったオフィスには、「働く人のウェルネス向上」効果も期待できます。木の香りなどからストレス軽減や自律神経のバランスを整えるフィトンチッド効果が期待でき、外気を取り込めるレイアウトなどこだわりの詰まった設計と併せて「心地よく働けるオフィス」を目指しています。



▲内装付きオフィス イメージパース

3. 経営課題であるマテリアリティ『活かしてつなぐ不動産再生』の取組

当社グループは、サステナブルな社会の実現への貢献と企業価値の向上に向けた重要な経営課題のひとつに「活かしてつなぐ不動産再生」を掲げています。これまで、様々な物件で環境認証の取得や高耐久建材の利用等で環境と社会のニーズに沿った物件のバリューアップにチャレンジしてきました。

木材を利用する「環境にも人にも優しい空間づくり」は当社でも初の挑戦であり、私たち作り手の思いや現場の様子についても細やかに伝えたく、今回のプロジェクト動画の作成に至りました。今後、内装工事の進捗と若手メンバーの奮闘に着目した

「chapter2」、完成した木質化オフィスを臨場感のある映像でご紹介する「chapter3」の動画公開を予定しております。引き続き、当社の取組にご注目いただけますと幸いです。

以上

本件に関するお問い合わせ：株式会社 AD ワークスグループ
広報・IR 部

E-mail : pr@re-adworks.com